

# モバイル電子名刺SEED

報、HPやメールアドレスなどがワンタッチで登録でき、連絡も簡単にできる仕組みだ。

送信する自社情報は企業情報のほか、商品情報のページも作成可能。自社のメルマガへの登録や、見積もりなども携帯電話からいつでもできる。



現在では営業マンなどが使用中で、SEEDを首から提げて訪問。今までの名刺交換とは違いため、面食らう感じが、面白がられ好意的に受け止められるという。

また運送会社での導入事例はないようだが、ドライバーが新しい荷主に行く際に自己紹介で使うなど、アイデアがいろいろある。

この機器に携帯電話をかざすだけの簡単操作

を続け、荷主の物流は入社してまだ経験の浅い社長の息子がいるに下がった。相相相、まさにそんな関係のところ、荷主の経が体を壊してから行ったが怪しくなる。同行きが怪しくなる。小企業と同族経営で

は入社してまだ経験の浅い社長の息子がいるに下がった。相相相、まさにそんな関係のところ、荷主の経が体を壊してから行ったが怪しくなる。同行きが怪しくなる。小企業と同族経営で

## ペーパーン開催中

### 「ガスタン」削減

同社のリビルト製品は、製造会社のプロから良品と認めてもらってから販売しており、海外品は安く手に入るが、壊れやすいのでお勧めできない。評価

### トラック



### 熱い視線

写真とは2日の長居スタジアム(大阪市東住)で、段階的に全国での

## 家電輸送の安全図り 車載火災報知器を

平野ロジスティクス

国内外の貨物を幅広く扱う平野ロジスティクス(田中一男社長、神戸市西区)はこのほど、東海支店(静岡県袋井市)所属の25台のインク車に車載用火災監視センサーを搭載した。営業ナンバー車両が関係した火災事故が全国で発生している実情を踏まえ、トラブル時の被害を最小限に食い止める効果が期待される。

導入したのは、「炎のスペシャリスト」として多くの実績を持つアンテック(岡山県瀬戸内市)がカーコレクショントラックファイエ(岡山市東区)と共同開発した製品で、昨年のトラックショーで初登場。炎に含まれる紫外線を監視センサー(キャビン外側などに装着)が感知すると、車内に設置した警報器が光と音でドライバーに知らせる仕組み。5分離れた地点で2秒の炎(ライター程度)を感知する一方、タバコの火や太陽光には反応しないスグレもの。

同支店は家電メーカー関連の物流業務が主力で、東海から関東エリアが地盤。7月



堀内光治支店長

同支店長は「これまでの業務で車両火災は考えにくい、依頼された荷物を確実に届けるうえで、万一の対策も必要と判断した」と話している。

(長尾和仁)

そして、荷主との関係がギクシャクし始めた矢先、次期社長である息子から突然、契約解除の知らせが届く。驚いた同社長は荷主社長に確認したが、契約解除は覆らなかつた。息子に任せているこ

と環境に優しく、時代がマッチしている」と強調する。

BDFに興味を持ったきっかけは「2年前の燃料価格高騰で、人件費や給料の削減は容易だが、一番良いコストカットは燃料だ」と

半分を賄う 精製機で1000歳のBDFを1日1回製造。同社長は「女性スタッフが作業をしており、誰でもできて、1か月40万~50万円のコストを削減。自社の軽油代の半分をまかな

## クリクラ配達 専用車を開発

ワゴン車からトラック

ポトルウォーター「クリクラ」を提供するナック(寺岡豊彦社長、東京都新宿区)は市場の急成長に伴い、日本初の「ポトルウォーター」配達専用車を開発。8月から東京と大阪で先行導入し、段階的に全国での

同社長は「厳しい経営環境で、BDFを精製することで良い循環ができています。自社だけでなく、関係

市場だった当出で運賃をないとしてトラックからない状態けるわけには元請け仕事もとで、自社抱える必要は「。トラック